

修士論文題目一覧(心理学専攻)

* 修了生 直近5カ年(2014-2018)

2018年度修了生

学位論文題目
青年期の自我同一性の獲得に恋愛と親子関係が及ぼす影響
学校適応の多様性—原子価論に基づく実証的研究—
性的マイノリティへの寛容度 —コンテイナー／コンテインドモデルに基づく実証的研究—
リ・メンバリングによるソーシャル・サポート知覚の強化に関する研究
就寝前の筆記行動が幸福感におよぼす影響について
なぜいじめは相談しにくいのか —連結理論に基づく実証的研究—
女子青年が捉える両親の夫婦葛藤と不安に関する研究 —自己分化の観点から—
自閉症の早期発見を目的とした運動・姿勢・聴覚によるスクリーニングの可能性に関する研究
直接的コンプリメントと間接的コンプリメントの効果の違いに関する実験的研究
統合失調症の親をもつ子どもの自尊感情の育まれ方に関する質的研究 —成人の語りから—
青年期前期の子どもたちが悩みを乗り越える過程の考察 —アタッチメント・スタイルの視点から—
保育現場における臨床心理的視点の有用性に関する研究 —保育士と心理相談員の協働がもたらす「人間関係」保育者効力感の変容について—

2017年度修了生

学位論文題目
レジリエンスと心的外傷後成長の関係モデルの構築と年代間の比較
青年期の「ひとりではいられる能力」と愛着・自己愛との関連について
中途障害者のアイデンティティ再構築過程を通じた自立観の変化 —周囲との相互作用の観点から—
家族内のメタ情動が青年期の情動知性に与える影響についての考察
就職活動への不安を軽減するためのポジティブリフレーミングワーク課題作成の試み
死別体験に伴う自己成長感の促進要因の検討 —遺族の視点をもとにした終末期医療におけるケアモデルの構築を目指して—
目標へ向かう努力や可能性に対するコーピング・クエスチョンの効果に関する研究
乗馬療法をうける肢体不自由児の身体及び心的機能と母親の障害受容 —コンテイナー／コンテインドモデルにもとづく実証的研究—

2016年度修了生

学位論文題目
大学生の就職活動におけるネガティブイベントからの回復過程 —複線経路・等至性モデル(TEM)による分析—
母親に対する中学生の相談行動についての研究 —コミュニケーション認知と相談行動の利益とコストの関係の考察—
コミュニケーションスキルが抑うつ感情・自尊心に与える影響モデルの検討
摂食障害からの回復過程に関する質的研究 —親子のillness network に着目して—

2015年度修了生

学位論文題目
思春期・青年期における Death Education の試みと死生観に及ぼす影響
患者の語りから読み取れるアイデンティティ再構成のプロセス －中高年期の危機に着目して－
青年期の交友関係と心理的適応および学校適応の関連
ひきこもり・不登校からの回復を妨げるディスコースについての研究
中学生の学校居場所感における個人差について ー原子価論に基づく実証的研究ー

2014年度修了生

学位論文題目
自身の未来に対する捉え方と精神的健康の関連
<喪失の語り>におけるアイデンティティの深化のプロセス －がんで配偶者を亡くした人たちの死別と再生の物語－
ビブリオセラピーを用いたうつ病予防研究 ー対人関係療法の書籍を用いてー
ストレスとの繋がりにおける個人差について ー原子価論に基づく実証的研究ー
児童期の親の養育態度と青年期のセルフコントロールとの関連
スクールカウンセラーへの相談行動に影響を与える要因について